

Jan. 2022

ハロー
ホスピタル

Hello Hospital



公益財団法人 東京都医療保健協会
練馬総合病院

<https://www.nerima-hosp.or.jp>

Vol.122

病院の理念

職員が働きたい、働いてよかった、
患者さんがかかりたい、かかってよかった
地域が在って欲しい、在るので安心
といえる医療をおこなう。

～ 新年のご挨拶 ～
新春懇談会 2022

「第26回 医療の質向上(MQI)活動発表大会」開催報告



目次

CONTENTS

新春に想う 1

-自分で考え、実践する-

特集・ご案内 2~17

- ~ 新年のご挨拶 ~ (院長・看護部長・事務長)
- 新春懇談会 2022
- 「第26回 医療の質向上 (MQ I) 活動発表大会」を終えて
- 「医師という職業」旭丘中学校での講演について
- コモンディジェーズシリーズ「膝前十字靭帯損傷、半月板損傷」

ナースの話 18

働いてよかった

くすりの話 19

せん妄

検査の話 20

電解質

レントゲンの話 21

放射線の単位と量

食事の話 22

豆類 その2

リハビリの話 23

健康維持・増進のために

患者さんの声にお答えします 24



謹賀新年

公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院は、地域に根ざした病院です。

地域の皆様のご支援・ご協力により、順調に運営しております。

コロナ下でも、医療の質向上（MQI）活動を実施し、年末に第 26 回発表大会を、Hybrid 形式で開催しました。内外から多くの方が参加され、令和 3 年度の統一主題「おさめる」に基づき、活発な質疑をしました。本年も宜しく願いいたします。

新春に想う

— 自分で考え、実践する —

理事長 飯田 修平



I 新型コロナウイルス感染症は油断できない

令和二年、三年と二年間、世界中、また、あらゆる人々が、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対応に明け暮れた感があります。

その極めつけが、昨年八月の第五波でした。変異株（ γ ）はワクチン接種していても感染し、他者に感染させることがありました（ブレイクスルー）。理由はわかりませんが、感染者数が急減しました。昨年度の統一主題「おさめる」のとおり、収束するかと期待しましたが、また、オミクロン株（ \omicron ）が蔓

延しつづあります。感染力は強いが重症化しにくいと言われています。このまま、インフルエンザと同様の疾患になることを願います。希望的観測です。データの集積を見ての判断になります。

II どう価値観を転換するか

昨年は、「コロナを契機に、進行中の価値観の転換が促進されています」、

「価値観の転換が必要です」と述べました。従来の考え方や方法では、組織も個人も存続が危うくなったからです。

多くの人は、「何を、どう変えれば良いのか」と結論を聞きたがります。自分で考えるより、他のひと、組織に決めてもらった方が楽だからです。他責にできるからです。

情報を収集し、状況を判断し、自分の環境に応じて、自分で考え方を見直し、対応を考え、実践するしかありません。

III 自分で考え、実践する

平成八年、二四年の統一主題を、「自分で考え、実践する」としました。指示待ち族ではなく、自主的に業務改善する、「考える組織」にしたいからです。

平成八年は、医療の質向上（MQI）活動を開始した年でした。

昨年末、コロナに負けずに、第二六回医療の質向上（MQI）活動発表大会をハイブリッド形式で開催しました。

「こんなに、忙しく、厳しい時によくやる」と、外部の人が言います。（当院の職員は、言わないと思いますが？）

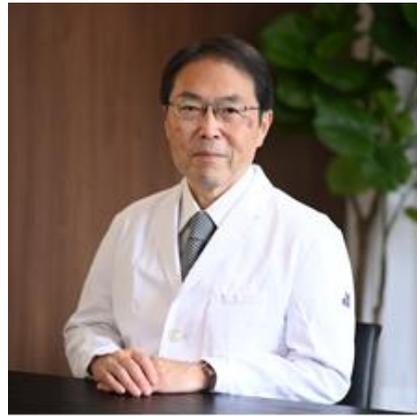
この時期だから必要であり、MQI活動を中心に活動しているからこそ、コロナに対応できていると回答しています。

昨年、「事業継続計画（BCP）と健康投資の考え方で平時から準備しなければ、同様の事を繰り返す」と述べました。

コロナ対応に明け暮れただけではなく、コロナ対応のBCPを策定し、日本政策投資銀行の「DBJ/BCM」格付けを受け、六年前に続けてA評価を受けました（A評価の病院は当院だけ）。経緯を医療界・品質管理界に発信しました。地域の皆様のご支援と、ご協力をお願いいたします。

～新年のご挨拶～

院長 柳川 達生



新年あけましておめでとうございます。一昨年八月に院長を拝命し、間もなく一年半になります。昨年末よりわが国では新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が低減しています。しかしワクチン接種が進んでいる欧州、韓国でも感染が再拡大しております。新たなオミクロン株も出てまいりました。予断は許されない状況に変わりはありません。今後も日常の感染対策は引き続きしっかりと行ってまいります。またそれと共に皆様方にこれまでと同様、

撃に受け止め職員皆で共有し改善につなげてまいります。

公益財団として生活習慣病の啓発・研究活動を今年も推進

感染を疑う方は自主的に申し出をいただき、また入院患者さんへのご家族の面会制限をお願いいたします。面会につきましては今後の感染状況をみながら随時検討更新いたします。ご不便をおかけしますが何卒ご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます

昨年八月にコロナ禍で診療をやや制限しましたが、夏以降は地域病院としての機能を回復しました。救急車受け入れ、外来、入院患者数、内視鏡数、手術件数、出産数とも増加に転じております。今年も地域の中核病院として安心して受診していただけるよう努めてまいります。

コロナ禍での医療従事者の精神症状の問題は権威ある海外医学雑誌でも取り上げられ、世界的な問題となっております。(Lancet 11月6日、Nature 11月28日等) そうした中、暖かい声をかけていただいたり、お手紙をいただいたことは大変大きな力となり、支えとなりました。また当院の至らぬ点を指摘いただくこともございますが、真

当院は一般診療とともに、公益財団として医療の質向上活動、生活習慣病の啓発・研究活動を実践する必要があります。医療の質向上活動は昨年第二十六回発表大会を無事終了させました。

糖尿病センターでは数年前より「地中海式健康和食」として啓発活動を行っております。米国では糖尿病、循環器、脳卒中の治療食のひとつとして推奨されており、二〇二〇年より日本糖尿病学会・循環器学会合同委員会は地中海食を糖尿病患者の大血管障害の予防に有効と紹介しました。昨年十一月に四区(練馬区、板橋区、豊島区、北区)合同糖尿病区民公開講座を担当し、「糖尿病と食事療法」地中海式で免疫力も高めよう」と題して練馬区医師会のHPより一か月YouTubeに配信させていただきました。約六百名の方々にご視聴いただきました。引き続き当院糖尿病センターのHPにて配信させていただきます。一時間と少々長いので、今後

短時間の講座も準備しお役に立てるよういたします。

昨年一月二日には血清マグネシウム濃度が低い人は糖尿病腎臓病が進行しやすいという論文を当センターから発表しました(Diabetology International 2021)。マグネシウムの豊富な食品を摂取したほうが糖尿病腎臓病は悪化しにくいという海外の報告もあります(American J Nephrol. 2016)。マグネシウムの多い食品は「まごわやさしい」ですが詳細は当院糖尿病センターHPを参照してください。地中海式食事はマグネシウムが豊富ですが、世界各国の腎臓専門家で構成されるKDIGOという国際NPO法人は、地中海食を糖尿病性腎臓病の食事療法として推奨しました(Kidney International 2020)。ただし透析患者さんには該当しませんのでご注意ください。これからも日常の診療ばかりでなく臨床研究を通して社会貢献もしていきます。

本年もなにとぞよろしく申し上げます

看護部長 佐藤 松子



新年あけましておめでとうござい
ます。

昨年も、レモンが沢山の花を咲かせ
ましたが、実は付きませんでした。一年
中咲き続けていた感じでしたので疲れ
たようです。葉にエカキムシが付き、枝
を多く切りました。十一月頃からは、本
来の肉厚の葉に生え変わり、ホツとし
ています。無花果は甘く熟し十個位収
穫出来ました。他に、キュウリ、枝豆も
採りたての甘さに感激しました。お正
月のすき焼き用に、十一月に春菊の種
を植えました。時期が遅かったので
収穫は間に合いませんでした。今年の
菜園計画を考えています。

昨年も引き続き、新型コロナウイルス
感染症の一年でした。昨年も記しま
した感染対策は継続しています。緊急
事態宣言解除後は、職員の日常生活の
注意点が少し緩和されました。但し、感

染予防対策を講じた上での緩和です。
東京都の一日の感染者数も、一桁と二
桁を往復しています。やはり気を緩め
る訳にはいかないと思っています。

看護師の採用面接も、コロナ禍を反
映してWEBでの希望があります。緊
急事態宣言で地方から上京出来ない方
や、都内の方でも新型コロナウイルス
病棟に勤務していたり等が、主な理由
です。職場見学ができない事が、内諾に
影響しているという印象はありません。

採用側、応募側の両者には、時間の削減
更に応募側には、交通費、宿泊費の削減
になります。最初はWEB面接では、接
遇面を見ることが出来ないとの理由か
ら、積極的ではありませんでした。しか
し、一度実施しましたが、特に問題はあ
りませんでした。以後は、応募者の希望
があれば、理由の如何に関わらず積極
的に実施しています。他にWEBでの
ご面会や研修参加等が出来、感染リス
クの低減に繋がっています。

昨年二月頃から院内の総合案内の近
くで患者相談窓口を開いています。看
護師が担当し、患者さんやご家族の受
診科の相談や健康相談、在宅での困り
事等を気軽に相談して頂きたいと思
います。必要に応じて他職種と連携して
対応致します。少しずつ認知度が上が

り相談件数は増加しています。他に看
護外来も週一回開いています。こちら
は糖尿病療養指導士資格の看護師が糖
尿病の患者さんに対して、食事や生活
面の指導や色々な相談を受けたりなど
の対応をしています。

他に看護師資格取得後に、更に研修
参加し試験を受け取得した資格の例と
して、人工肛門の管理ができる臨床ス
キンケア看護師、食事摂取が困難な患
者さんをサポートする栄養サポートチ
ーム専門療法士、排尿ケアサポート、消
化器内視鏡技師、第二種滅菌技士、パス
認定士、看護師の学生の育成に関わる
臨床実習指導者等が挙げられます。紙面
の都合上、全部の資格を挙げられませ
んが、このような資格によって患者さ
ん個々の治療の一助になればと思っ
ています。

今年こそは、新型コロナウイルス感
染症が終息する事を願って、より一層
の感染予防対策を継続致しますのでご
協力よろしくお願い致します。

昨年同様、新型コロナウイルス感
染症が終息する事を願って、より一層
の感染予防対策を継続致しますのでご
協力よろしくお願い致します。

事務長 阿部 哲晴



新年あけましておめでとうござい
ます。

令和三年の今年の漢字第一位は「金」
が選ばれました。オリンピックの金メ
ダル、大谷選手の大リーグMVPの金
字塔、コロナ給付金などが理由に挙げ
られています。第二位は第一位との差
が過去最少の百十八票で「輪」が選ば
れ、上位には「楽」「希」「明」といった明
いイメージを持つ漢字が並びました。

昨年比べて明るい漢字が増えた背景
には、新型コロナウイルスワクチン接
種が進み安心感が広がってきたこと、
感染自体が落ち着きを見せてきたこと
があるようです。近隣の町会長さんか
ら、少しずつ町会活動を再開している
こと、ちょっとした町会活動であって
も、地域の皆さんが非常に喜ばれて参
加されていることをお聞きしておりま
す。

当院も四月よりワクチン接種を開始し、これまで延一万六千回を超える接種を行ってきました。通常診療を制限せずにワクチン接種を行うため、地下の職員用の講堂を開放し接種会場にしたり、職員の増員をしたり、地域の皆様にも最大限、迅速にワクチン接種を進められるよう職員一同、一丸となつて取り組んできました。時にはお待ちでする時間が長くなるなど、地域の皆様にはご迷惑をおかけしたことがあつたかと思ひます。にもかかわらず、当院の状況をご理解いただき、ご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

地域の皆様に対するワクチンの三回目接種がもうすぐ始まります。引き続き、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

昨年に引き続き、五月の看護週間、八月の医療体験、九月の敬老の日講演会を中止といたしました。九月の敬老の日講演会は開催のご案内まで行い、申し込みも頂いていた中で、無念の中止決定となりました。八月の感染拡大はますます、当院の発熱外来も一日五十人以上の受診があり、二十名以上の感染を確認するなど、危機的状況でしたので、止むを得ませんでした。来年こそはと会場をすでに押さえております。

最後に、当院も新築移転から十五年が経過し、大規模修繕が必要な時期が来ています。今年は、壁面の修繕を計画しています。大変恐縮ながら、修繕の際には音が出ます。ご迷惑をおかけしますが、今後とも末永く地域に貢献できるように全力を尽くしてまいりますので、何とぞご理解いただけるようお願いいたします。本年も、どうぞ宜しくお願い致します。

新春懇談会 二〇二二

— 近隣町会長 —

旭丘東町会

高木典夫様

旭丘二丁目町会

伊藤彰様

桜台自治会

林文夫様

桜台一丁目町会

俣田茂雄様

小竹町会

佐藤健治様

桜台二・三丁目町会

風祭毅様

羽沢町会

柄本廣央様

栄町町会

小島量喜代様

桜台親和町会

森谷英一郎様

旭丘一丁目町会

野口文江様

豊玉第一町会

西村勝男様

— 病院関係者 —

理事長

飯田修平

院長・診療技術部長

柳川達生

副院長・診療部長

栗原直人

看護部長

佐藤松子

副看護部長

福本和美

事務長

阿部哲晴



飯田理事長

あけましておめでとうございませう。理事長の飯田と申します。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしく願ひいたします。

この二年はコロナコロナでした。皆様もそうでしょうが、特に病院は、一般の医療、救急医療、それに加えてコロナ対応で、職員はてんてこ舞いでした。地元に根ざした病院として運営し、

七十三経ちます。今後も経営を安定させて、皆様方の信頼を得、医療を継続する役割があります。地元の皆様方とのこの懇談会は大きな意味があります。是非ともよろしく願ひいたします。

二年前に武漢でコロナ第一例が出たらしいですが、隠されて分かりませんでした。年が明けて新型コロナウィルスが流行っているという話を聞き、当

初は医療従事者も「普通のウイルスにちよつと毛が生えたくらい」とか、「新型インフルエンザと似たもの」くらいに思いました。情報が全くなかったからです。中国が隠し、WHOが情報操作しているようでした。二月に「おかしいぞ」となり、三月にWHOがパンデミックと認めました。私たちにも情報が集まってきた、「これは大変だ」と準備しました。その時はまだコロナの特性がよく分かっていませんでした。

「不要不急の外出を控えろ」と言われ、病院も不要不急だったらしく、四月五月に突然患者さんが減りました。あれ？医療も不要不急だったのかと寂しく思いました。同じく、裁判が延期され司法も不要不急、また、お坊さんも不要不急という本も出ました。皆様の判断なのでしようがないです。

「自粛」が未だに続いています。自粛とは何か？自粛は強制ではないが、自粛しないと怒られる。よく分かりませぬ。組織・国によっては強制的に外出を禁止しています。それだけやった国でもまた流行している。変異株の対応が大変でした。コロナウイルス・RNAウイルスは変異する特徴はわかっています。変異の仕方に驚いたのは確かです。新型コロナウイルスの問題は、発

症二、三日前の感染力が強いことです。インフルエンザは発症してから感染力が強い。コロナの場合は症状のない方からうつる。だからコントロールが利かなかつたのです。それをなんとか凌いできましたが、去年の二月にイブシロン株、八月にはデルタ株が出ました。医療従事者はワクチンを優先接種を受けましたが、当院は四月でした。四月にワクチンを打った職員が八月に、入院時PCR検査陰性の患者から感染し、

後からその患者が感染者とわかりました。ブレイクスルーといえます。今までの感染症とはまったく違います。クラスターを発生させましたが、全職員一丸となって対応しました。日頃の訓練と情報を収集して職員に周知徹底し、方針を変えて、週毎、場合によっては、毎日、情報を発信しました。なんとか年を越せたという状況です。人生で、百年あるいは十年に一度という人もいます。当院は三十年近く職種横断的に協力して改善を継続し、コロナ下でも試行錯誤しながらやってきました。

オミクロン株が出ました。感染力が強いが重症化しにくいということで、蔓延する可能性があり油断できません。一昨年と同様に、新春懇親会もどうしようかと考えましたが、密ではなく、マ

スクして、換気も十分しているから大丈夫と、皆様にご参加いただきました。よろしくお願いいたします。

柳川院長



新年、あけましておめでとうございませぬ。今年もどうぞよろしくお願いたします。病院長の柳川と申します。

今、理事長からありました様に、昨年はコロナで大変な一年でありました。経営的には何とか黒字でこれしました。

それを踏み台にして成長していきます。職員は、感染防御で業務量が増えています。例えば採血です。すごく人が並んでいるので、患者さんが増えたのかと思つたら、数は変わっていません。採血担当者を二人から三人にしても、一人一人手袋を変え、消毒すると少しづつ時間がかかり、患者さんが溜まります。全ての業務量が増えています。それに職員が色々と防御しても感染するかもしれない恐怖があります。また、患者

に接して働く職員は、子供と一緒にご飯を食べられない、旦那さんに任せて横を向いて、別のところで食べるという人もいます。職員は相当なストレスが溜まっています。

昨年秋から下火になり、職員は若干安心していきます。しかし、韓国の状況を見ると安心できません。感染防御の面では必ず患者さんには防御着で対応しています。気持ちには若干楽になりましたが、業務量は減らないという状況です。

昨年十一月に感染が下火になったので、当院は早めに入院の面会制限を若干緩めました。その後厚労省から面会させなさいと通知が出ました。

コロナに負けないで普通の医療をする。地域の方々が、お腹が痛い、熱が出た、そういう時に普通に診る病院ではないといけません。自宅に帰る方が多いですが、入院した方がいい方を見極める医療をコロナ禍の中でもやっていくことが当院の一番の使命と思ひます。

実際にお産や手術件数も随分と伸びています。苦しい中でも当院は地域の中での医療を果たしていると思ひます。完璧にできている訳ではございません。種々問題点もあり、投書とかその他でお叱りを受けることもございます。当

事者と私で話をして改善に心がけます。当院は公益財団です。診療だけでなく、公益的な事業を世の中の一般の人に役に立つことをやらなければいけません。

練馬区医師会と練馬区と、四区合同糖尿病公開講座を十一月にやらせていただきました。糖尿病に限らず生活習慣病に関した当院の知見を、地域・社会に還元したいと考えております。

今年も皆様方のご支援を、何卒よろしくお願いいたします。

栗原副院長



あけましておめでとうございます。副院長の栗原です。診療部長を兼ねていますので、医局の話をいたします。

新型コロナウイルス下、地域の皆様にはご協力いただきありがとうございます。

四月からワクチン接種が始まり、当院でもワクチンを積極的に打ちました。四月から職員、五月から近隣の一般の

方に接種しました。ワクチンが無駄にしないように、接種する方を確保しなければなりません。当日、急に体調が悪くて来れなくなると、その分が無駄になります。近隣町会長様に事情を説明して協力頂き、待機者リストを作成し、無駄にしないようにしました。多い日は一日二百名近く接種しました。三回目のワクチン接種が始まります。また、ご協力をよろしくお願いいたします。

昨年一月に診療所を開設し、順調に動き出しました。小児科は、感染を防ぐ意味で、診療所に移設しました。ワクチン接種を診療所で一日に五十名近くできるようにしました。

小児科と漢方内科があった場所を発熱外来として、感染の可能性がある人と一般の診療の人を分離しました。軽症・中症くらいの患者さんを担当しました。昨年一年間で百名近いコロナの患者さんを受け入れました。

飯田理事長、柳川院長もおっしゃいましたが、当院の特徴は地域に根ざした病院なので、困った患者さんを診なければいけない。コロナに感染しても胃腸がなくなる訳ではないし、大腸癌がなくなる訳ではない、骨折がなくなるわけではないのです。そういう患者さんを充実して診るにはどうしたら良

いのかと、医局が一致団結しました。秋以降は、手術件数も内視鏡件数も順調に推移しています。

四月以降、小児科、産婦人科の増員を考えています。地域に根ざした病院として今後も頑張りますので是非ご協力・ご指導をよろしくお願いします。

佐藤看護部長



あけましておめでとうございます。看護部長の佐藤でございます。

感染予防を第一の目標に掲げています。質を保つことと思えます。感染予防で、ガウンや手袋を装着するため、入院患者さんも外来患者さんも以前に比べて待時間が増えています。二・三分でも待つて方には非常に長く感じますので、できるだけ待たせることの無いように訓練します。去年看護師による患者相談窓口を開設して、総合案内の隣に机を置いて「なんでも相談」を受け付けています。例えば、治療、健康、

ご家族等、色々相談を受けて必要に応じてそれぞれの部署に繋がります。何かお困りのことがありましたら利用してください。宜しくお願い致します。

阿部事務長



あけましておめでとうございます。事務長の阿部です。

昨年も、地域の皆さんとの交流の場の一つとして位置付けている、看護の日講演会、敬老の日講演会が中止となり、残念に思います。お配りしましたハローホスピタルに講演する予定だった内容が書かれていますので、是非お目通しください。「コロナに負けず歩き続けるために」「ひざの痛みは怖くない」というタイトルで内科医師、整形外科医師、管理栄養士が書いております。最近ではコロナ下でも、外来患者さんがかなり増えており、一日五百六十名くらいの時もあります。会計でお待たせしていると感じており、何とかでき

ないかと検討しています。

毎年申し上げておりますが、当院は感染症、地震、火事など危機的状況になった時にも病院の機能を継続する事業継続計画を立てております。そういう状況下では、地域との連携が重要です。今後もご協力をお願いすることもありますので、よろしくお願い致します。町会や自治会の行事の内容も練馬区のホームページで見ますと皆さんのところも、防災訓練や炊き出し訓練などされたりしているようです。一緒になって何かやっていければと考えております。

二〇〇六年十二月から、新病院で診療を開始し十五年経ちます。外壁等を補修しなければいけない状況です。病院を覆ったり、音が出たりと、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれません。是非ご理解いただければと思います。

福本副看護部長



あけましておめでとうございます。

副看護部長の福本と申します。私は令和三年の懇談会から参加させていただいております。はや一年経つたと実感しております。地域の皆様とこういう風にお顔を合わせてお話しする機会は本当に少ないので、こういう意見を頂ける場は嬉しく思います。

看護もいろいろ変わっております。先ほどの話にありましたが、当初は「面会できない」という状況から、今は条件付きですが、「面会できる」までに変わりました。それまでは、オンライン面会でした。看護師の負担もありますが、ご家族や患者さんに喜んでいただける安心して頂けることを考えております。面会の他にも私は産婦人科病棟にもおりました。立ち合い分娩も再開できております。入院生活、寂しい思いをしておられる患者さんも多くあります。面会することで、ご家族・患者さんが安心出来るようにしております。入院中も私たち医療者・患者さんもマスクをしてお話しすることが常になっていきます。皆さんの協力があって、こういう状況が普通になってきています。本当に感謝しております。ありがとうございます。

旭丘東町会 会長 高木 典夫様



あけましておめでとうございます。会長の高木です。よろしく申し上げます。

私からは二つ質問というかお願いがあります。まず、最初にお礼です。先ほど栗原副院長からもお話がありましたように、先生は地域連携室長ということで地域を大切にしているとさつきお話にありました。ワクチン接種に関しては色々と便宜を図って頂きましてありがとうございます。それから、話に聞きますと地元の学校の先生、教職員にも接種を優先的にさせて頂いたと聞いております。非常にありがたいと思っております。

それから、去年の新春懇談会の時に練馬総合病院では医師とか患者さんもコロナの感染者はゼロでしたよというお話がありました。それから一年経ってどうなったのかをお聞きしたいのと、三回目のワクチン接種が医療従事者で

も始まっているとかいう事です。八か月すると一般の我々も接種するという事でその辺の状況や流れのお話を聞ければと思います。

柳川

この一年間の感染状況は、入院患者さんは紹介がありまして、多い時に三名から四名軽症の患者さんがいて、合計百人くらいコロナ患者の入院がありました。職員の感染は、何とか逃れていきましたが、二月に全くコロナらしくない患者さんから職員が感染して、保健所のお世話になりました。ホームページにも掲載しましたが二月の時に診療をかなり制限しました。幸いその時には患者さんには感染させないで、職員が九人感染しました。診療はかなり制限せざるを得ませんでした。その後、八月に病棟の看護師が「のどが痛い」というので調べたらPCR検査陽性で、同じ病棟の看護師が計四人陽性でした。患者さんも調べたところ何人かその病棟で陽性者がいました。その病棟は保健所の指示に従って新規入院を止めました。

飯田

補足しますと、二月の時はコロナの症状がない救急患者を診た職員が感染しました。職員は複数出たのですが、幸いなことに患者さんには一人もうつさなかった。これは誇りにしています。

八月はデルタ株だったので、入院前のPCR検査陰性だった患者さんから看護師が感染しました。症状が出たのは看護師だけでしたが、その後、調べたらその患者さんも陽性とわかりました。デルタ株は本当に恐ろしいです。職員が努力して一病棟だけで何とか食い止めました。経営には大きな痛手はありませんでした。二月の時は大変でした。

栗原

練馬区の管轄で三回目のワクチン接種を行います。二回目の接種が終わってから八か月後という縛りがあります。論争があるので短縮される可能性もあり、自治体に任せられる可能性もあります。連携を取りながら決めていきます。当院で打たれた方が当院で打てる可能性は非常に高いと思います。三回目を打てるように準備しています。医療従事者はもちろんですが、地域住民、練馬区在住の方、練馬区で働いている方は接種できます。ワクチンが無駄

にしないように考えています。ご協力をお願い致します。

飯田

補足しますと、地元の方、小学校の先生も対象にしました。そもそも医療従事者を優先しているのに国は我々病院の職員、介護施設の職員は優先したが、「救急隊員は医療職ではない」ということでした。コロナ患者・疑似患者、救急患者を運ぶ救急隊員こそ、私は医療に従事する人だと思っています。国がまだ認めていなかったですが、私の責任で副院長、院長に話して消防署に申し入れて優先的に接種することにしました。他の病院では普通の患者さんと同じように打っていました。

栗原

消防隊員との勉強会をしていたので、消防隊員の勤務形態、二十四時間働いた後に休みになる事を分かっています。消防署長さんに面会し、「消防隊員の方も医療従事者として当院で打たれたらどうでしょうか」と提案しました。夜勤明けの隊員にいつ頃にやると、副作用で出られなくなると救急業務に支障が出るおそれがあります。九時に夜勤が明けて、十一時くらいに一日何

名ずつに分けて来ていただくことにしました。

ちょうど当院が始めた時に、消防隊の方も医療従事者と自治体が認めて、代々木や練馬光が丘で集団接種することになりました。土曜、日曜にまとめて打つと、仕事に支障が出る可能性があります。そういう意味で、当院と救急隊との連携が出来ていたので適切に打つことが出来たと思います。

高木

もうひとつはお願いですが、「灯台下暗し」という言葉があるように、何をやっているかがかえって分かっているような気がします。例えば地中海料理の講座も含めて、年に一、二回、阿部事務長と打合せして、十分か十五分で良いですから「今こんなことやっている」「こう考えています」という情報提供していただく相談に上がりたいので、是非お願いしたいと思います。

栗原

地域連携室長として、参加させていただきます。話をさせていただければと思います。お呼びいただければ喜んで行かせていただきます。

旭丘二丁目町会 会長 伊藤 彰様



あけましておめでとうございます。旭丘二丁目町会会長の伊藤と申します。本年もよろしくお願いいたします。

コロナで町会活動も残念ながら思うようにできませんでした。他の町会も同じだとは思いますが、役員が高齢になり、多くの人が集まるようなところは「お母さんいかないでくれ」「お父さんいかないでくれ」と子どもからのプレッシャーが結構あるようです。皆の意見を集約して会議や行事はかなり減らして、一年二年経過しました。テレビや新聞紙上で、「コロナによって人の考え方が変わった」という表現を耳にします。特に、人間の生き様、元の習性が、だんだん基本に戻ってきているという話を聞きます。町会の役員も「当たり前」のことを大切にしていきたい」という考え方が結構出てきております。その中で、どうしても健康です。そういう意味では練馬総合病院さんに先陣を切っ

て頂いて、ご指導いただけると我々地元は有難く思います。尚且つ、日常生活も平穏で無事でありたい。なんといっても今を大切に、豊かにする町会活動を是非目指してくれという意見があります。本年はこれを踏まえて町会活動をやっていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

桜台自治会 会長 林 文夫様



あけましておめでとうございます。桜台自治会会長の林と申します。よろしくお願いたします。私は今月初めの出席です。まず、先ほどの理事長・院長から地元の医療に根差した病院を指すということを聞きまして、非常に心強く感じております。本当に自治会員も非常にお世話になっております。自治会のイベントにも先生方には、新年会など、コロナの前ですけど敬老会にもご出席いただいて本当にありがと

うございます。

コロナでうちの自治会も活動は全然できなくなっておりましたが、みんな高齢の方から特に「家に引きこもっている」と頭がおかしくなる」という声が大分出ております。飲食を伴うものは完全に禁止しておりますが、個々のサークル活動は少しずつ始めて、みなさん喜んで「何もモノ言いませんから出席だけさせてください」とか皆さん切羽詰まっているような状態です。今日のお話を聞いて練馬総合病院の方にも色々相談させていただきました。今日は少しずつ進めさせていただきます。今日は出席して有意義だったと感じております。ひとつよろしくお願い致します。

飯田

今後ともよろしくお願致します。やはり町会・地元とのつながりは非常に大事だと思います。

桜台一丁目町会 会長 俣田 茂雄様



桜台一丁目町会会長の俣田です。三代前の親父がうちの町会の会長でこちらにもお世話になっておりました。内科の豊田先生からずっと私まで診てもらっています。地域の医療機関として私ども、活用させていただいております。町会としても医療関係のお話があれば受けていきたいと思っております。要望というお願いと、協力していくぞという姿勢でお願い致します。

飯田

医師だけでなく看護師も他職種の職員もいますので何かあればお願致します。

小竹町会 会長 佐藤 健治様



あけましておめでとうございます。小竹町会会長の佐藤でございます。

町会の事情は皆同じだと思いますが、何もできないというのが現状です。その中で、相当悩んだのですが、昨年八月には屋外ということでラジオ体操は開催しました。たまたまその週は感染者が一番多い週で、五千人も出ている週だったのですが、屋外で感染対策を十分に行い、一週間やりました。通常は二週間ですが、一週間にしました。その時の表情を見ていると子どもも大人も非常に生き生きとして「外に出てよかつたな」という顔をしているのです。「あこれは開催して良かったな」と感じました。その他は、普段だと夜警は室内で集まってお話しして豚汁を食べることがありますが、そういうことは一切なく、即夜警に回ると形で三日間行いました。これも好評なうちに終わります。

した。その代わり防災訓練の様な集まりは中々出来ないのが現状です。

病院の方にお伺いしたいのは、この病院を私はよく利用しているのですが、予約していても待たされる、それも順番が出ていない。あれはなんで順番が出ないのですか。それが分からない。九時に来て十時半になるのが良く分からないのでご説明頂ければありがたいです。病院の方には、この非常に厳しい二年間をなんとか黒字にやったというその努力は大変なものだと評価しております。その辺のところをご説明頂ければ。それともう一つ、十月には区の健診があったのですが、血液の検査を三回やられたのです。これを一回に済ませられないのか。ご説明頂ければありがたいと思います。

飯田

区の健診を病院でやったということですか？

佐藤

はいそうです。その他に栗原先生の胃カメラの前の血液検査。通常の循環器の先生の血液検査と、その月三回血を抜かれるのは嫌だなと。

飯田

同じ日じゃなくて？

佐藤

同じ月です。循環器の検査の日に「先週やったからいいんじゃないの」といったら「調べる項目が違うから検査やっつけて下さい」と

飯田

区の健診や企業健診は色々項目が決まっています。通常外来と共通項目はありますが、これをやっているからやらなくていいというわけにはいきません。全く同じではないので、基本的には違うと考えてください。採血を同じ日に予約して頂ければ当院のシステム上、外科と内科で別々に指示を出しても特別な検査でなければ二つの科から依頼があっても一回でできます。

佐藤

痛いのは少ない方が良いでしょうね。

飯田

病院の都合で分けているのではなく、国が決めているので、やむを得ないのです。区の健診や企業健診と通常の診察は全然別の枠組みで、お金も向こう

から出ているのです。保険もきかないなど。お気持ちはよくわかりますが、それをご理解いただきたいです。

中待ちの番号表示ですが、診察だけの人とか、検査をやってから診察の人とかいるので順番が前後します。必ずしも五番が過ぎたら六番ということではなく、また、ずっと後の人が先になるとかがあります。

佐藤

そうではなく順番が全然表示されていないのです。

柳川

一応三番から四番くらいまで出るようになっていのですが、ある科の特定の医師が出していないのが分かりましたので、それは注意しました。

それから、九時の予約が十時半は問題があるので、それも検討します。何か事情があった可能性ももちろんあります。例えば病棟で突発事故がとか、ただそれでも、患者さんにはお伝えしないといけません。

例えば、緊急で対応できないという理由なら、分かるように説明しなければいけません。

飯田

待ち時間を短くしなければいけないと努力はしているのですが、こういうことは大変申し訳ございませんでした。

桜台二・三丁目町会 会計

風祭 毅様



桜台二・三丁目町会の会計の風祭と申します。会長の新井、副会長の風祭がやむを得ない必要がありまして、「代わりに行ってこい」という事で、初めて出席させていただきました。よろしくお願い致します。

個人的なことですが、数ヶ月喪中ですので、皆様の新年どうのこうのというご挨拶の時にはちょっと不機嫌になるかもしれませんが、ひとつご理解いただければと思います。よろしくお願致します。

羽沢町会 会長 柄本 廣央様



新年おめでとうございます。

小竹の佐藤会長からお話ありましたが、町会の活動は相当自粛しました。役員会も年に二・三回しかできず、十二月は皆さん忙しいのでその前の十一月にやろうという事で、いつもは六十五名くらいの役員会になりますが、三十名くらいで実施しました。

夏休みの子どものラジオ体操は外でやるので、間隔をあけて手を消毒してやればいいだろうと、普段は二週間ですが一週間実施しました。子どもたちは夏休み中に外に出てこれて本当に目が輝いていて生き生きとし、やっというイベント出来るなど楽しんでいました。

八月には、恒例でブルーベリー摘み会をやりましたが、紹介しなすと言いなながらご紹介しなくて柳川先生には申しかけなかったのです。間隔をあけて、二十名を五回・六回と重ねて、昨年より

栄町町会 会長 小島 量喜代様



あけましておめでとうございます。

栄町町会の小島と申します。よろしくお願ひします。

旧年中は練馬総合病院さんには大変お世話になりました。特に近隣町会のワクチン接種をして頂きました。私共の町会は商店・お店をやっている方もたくさんおり、特に飲食関係も非常に多いです。若い人たちも多いので、大変喜んでいたかったです。もっと希望者がいたので、こちらにもご迷惑をかけるので、ある程度で止めて打ち切りました。

また、町会活動についてお話がありました。また、私共も町会活動は出来ませんでした。十一月には感染数がぐっと減りましたので、気を付けながら新年会をやるとういう感じでしたが、十二月に入って先ほど理事長さんからもお話がありました。オミクロンがまだよくわからないという状況になりました。

接種を二回しているのですが、新年会は出来るだろうと思いましたが、二回打つても感染するということなので、やめることになりました。

栄町文化祭、これは町会ではどういう活動をしているかというのを皆さんにお知らせするために、一年に一回各委員会の合同でやって、一体感を役員の方たちに持つてもらおう、それから、行政にアピールしようと思っております。二年前は当日も台風がすごくなるということで中止になり、去年はコロナで中止になり、今年も一月十六日ですが、感染対策に気を付けながらなんとか進めていきたいというのが私の思いです。このオミクロンという新しい変異株ができませんと、もっと自粛が長くなる。町会活動ももう二年、盆踊り・お祭りなど中止にしています。今年も中止にすると三年も中止になり色々弊害が出てきます。寄付とか奉納もいただいていきますので、なんとかある程度ウィズコロナの意識として、なんとか持つていきたいという考えであります。それから、江古田駅周辺地域連絡会は、役所のまちづくり課、練馬総合病院さん、江古田斎場さん、三大学、七町会、十一ブロックの商店会の代表の人たちに出てもらっています。

感染者がぐつと減り、なんとかやれるかと思っていました。オミクロン株が発生して、やめた方がいいんじゃないかなという事です。二月に私共の会館でやるような方向で進めるようになると思います。七町会の方たち、練馬総合病院さん、宜しくお願いいたします。

桜台親和町会 環境衛生部長

森谷 英一郎様



飯田 皆さんのお考えのように、屋外でラジオ体操等をやるのはいいと思います。が、室内の飲み食いで大人数はなるべく避けた方がいいです。もしやるとしたら、お食事は今日もそうです。お土産にして食べるのは、やめた方が安全だと思います。これは医師として。

小島 新年会はどうしても飲み食いでできないとどうしようもないから中止という事です。文化祭は飲み食いとかが、本当はコーヒーやお茶くらいは出してスライドを観てもらおうと思いましたが。コーヒーやお茶は出さない方がいい、帰りにちよつとしたものを持たせた方がいい。是非やりたいと思います。

みなさま、あけましておめでどう

ございます。桜台親和町会、環境衛生部長の森谷と申します。初めて出席させていただきます。会長の長風が外せない用事がございまして、私が代理で出席させていただきます。

コロナのワクチン接種に関しては我々の町会に配慮頂いたという事で長風の方からくれぐれもお礼を述べておきなさいと言われました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。どうもありがとうございます。

先ほどお話の中でコロナ予防に関して、病院の業務が増えているというお話し承りましたが、もつともだなど、思いました。色々な訓練をされているという表に出ない陰の努力というのが多々あるのだなと思いました。その積み重ねによって、秋以降のコロナ感染

が激減しているのではないかと感じます。我々地域としても、そういったことに応援していきたいと思うのですが、私たちがコロナに感染しないことが一番の応援ではないかなと思います。そのために町会を挙げて、町会員皆の健康増進にこれからも取り組んでいきたいと考えています。どうも、本年もよろしくお願い申し上げます。

旭丘一丁目町会 会長 野口 文江様



あけましておめでどうございます。旭丘一丁目町会、小林隆雄前会長の後任を仰せつかりました、野口文江と申します。よろしくお願いいたします。

練馬総合病院様には日ごろ大変お世話になっております。ありがとうございます。当町会は、昨年ほとんどの行事が中止となりましたが、幸いにも桜台・旭丘地域集会所の利用制限を区からの通達で人数制限、時間制限などを守り

まして定例会や小規模の集会は行えませんでした。

新年を迎えて、まだコロナの不安はございますが、テレビや新聞などでお祭りや音楽祭などイベントが二年ぶりに再開されたというニュースが見られます。当町会としては不安がぬぐえませんが、マスクの無い日が来ることを願いつつ、基本的な感染防止対策をしっかり守って皆様にご協力お願いしたいと思っております。どうぞ、皆様よろしくお願いたします。本日はお招きありがとうございました。

飯田

仰る通り、日本人はまじめです。殆どの方がマスクしています。諸外国では、蔓延しているのにマスクをしない人が多いです。これはやはり国民性ですかね。感染防止に、マスクが一番ですから継続してお願いします。



新年あけましておめでとうござい
ます。豊玉第一町会の西村でございます。
す。よろしく願いいたします。

練馬総合病院さんに関しては当町会
ではかなり評判の良い病院です。三年
前に内科の東先生に、ある患者を呼吸
ができないという事で診てもらいまし
た。午前中に別の先生に診てもらいま
し度帰宅しましたが、私はどうも気にな
りまして、薬は飲みましたかと患者さ
んに聞いたら「飲めない」と言うので
喉が塞がった状態で飲めないという事
で、私は再度迎えに行つて、再度診ても
らった時には内科の東先生だったので
す。適切に判断をして日大にご紹介し
て頂けました。日大でも東先生の見立
てと同じで緊急に、万が一の場合には
穴をあけて気道を確保する、という事
でした。二週間くらい入院して、それで
無事に退院という話も町内会に広まり
ました。

それと、最近では腰の手術で結構入
院した患者さんがおり、退院してすぐ
にゴルフをしています。そんな状態で
やはり評判はいいです。それと、栗原先
生ですが、胃腸とか大腸も評判がいい
です。

昨年の十二月五日に、炊き出しの訓
練をやりました。その前の年もやった
のですが、五十人くらいを想定したら、
実際には三百人くらい来て、炊き出し
訓練の牛丼が足りないという事があり
ました。去年の十二月にやった訓練で
は三百人を想定したのですが、四百人
以上来ました。牛丼は三百五十作りま
したが、五十くらい足りない。コロナの
問題があつてもやっておかないと、実
際に災害が起きたら、もっとまごつく
のではないかという事で細心の注意を
しながら、検温と消毒、密にならない方
法で無事に訓練が終わりました。
今年、三島大社への町会旅行を計画
しています。定員四十名で、定員満員で
ますが、今のバスは換気がすごくいいん
です。あとは飲み食いだけ気を付けれ
ばと。町会の方の催しは以上でござい
ます。

飯田理事長

ありがとうございます。評判がいい
というお話は本当にありがたいと思
います。投書とかお叱りのお便りが無い
わけではありませんが、昔に比べると
相対的に評判が良くなってきました。
今後ともよろしくお願いいたします。

それでは皆さんのお話を頂きました
ので、何かこういうことを聞きたいと
か何かありましたら、遠慮なく手を挙
げて順番は関係ありませんのでどうぞ。

西村

豊玉第一町会は東京都の医療関係の
地域として練馬総合病院さんじゃない
のです。隣側の総合東京に行きますと、
新宿と中野と杉並がグループになつて
いるようです。そういう事で我々町会
は練馬総合病院さんにお世話になつて
いますのでよろしく願います。

伊藤

どこへ行けというのは決まっている
のでしょうか？

飯田

それはないです

森谷

先ほど配布されましたハローホスピ
タルの秋号を拝見しているのですが、
その十五ページに「病院の印象は如何
ですか」というグラフが載っています。
待合室にやや不満・不満が他の項目と
比べて多いかなと、満足が他に比べて
低い数値が出ていますが、待合室って
やはり初めて来られた方には不安がい
っぱい、診療が始まるまではいつたい
どうなるのかと不安を考えている方が
多いのではないかと、そういうことで
満足・不満足に影響しているのかなと
感じました。その辺に関しては病院と
してはどのようなご見解なのかお聞き
したい。

飯田

一番は、狭いスペースの中で、古い病
院に比べれば倍以上で療養環境をよく
していますが、外来の患者さんの数も
増えています。そうするとこのギリギ
リで作っている中で待合室のスペース
は狭いと思います。建築中にちょうど
アネハ事件の直後だったので、東京都
が検査に来た時に法律の範囲内で設計
しているのに「こんなにギリギリ(容積
率)で使うのはあまりない」と怒られま
した。そのくらい一生懸命スペースを

あけてもです。

例えばこの会場、この規模の病院で二百人集まれる講堂を持つている病院はあまりないです。私は会合とかMQIの発表大会とかそういう時に、自前で講演会とか看護週間の会合とかやりたいからつくりました。

我々のいる管理棟も地下一階です。

普通管理棟は日当たりの良いところにあります。理事長室も院長室も、看護部長室も狭いです。それでもこれしか作れない。言い訳になりますが、急性期病院でこれからやっつけよう。昔は平均入院期間は一ヶ月くらいでしたが、今はその半分以下の十〜十一日です。手術室も旧病院では二つ三つしかなかったのが今は五つの手術室で、副院長が言ったように月に二百五十件の手術を行っています。

ただし、ハートビル法に適合させ、病室と廊下は広いです。外来の待合は大変申し訳ないですがこれ以上は難しいです。皆さんのお力で広い土地を確保できればありがたいと思います。

柳川

一番は立っている方がいる状況と、椅子が汚いということでした。すぐに掃除させました。あと、照明、電気をつけていないところが暗いところがありました。

飯田

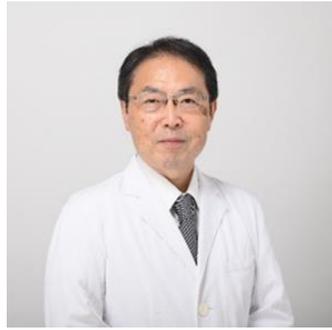
今はコロナなので、朝早くから看護師、事務員が椅子からソファ、テーブル、スクリーンまで全部毎日拭いていますので清潔です。狭いといわれると申し訳ないと思います。

新春懇談会は終わりにさせて頂き、記念撮影を撮りたいと思います。本日はありがとうございます。またよろしくお願い致します。



「第二十六回 医療の質向上（MQI）活動発表大会」を終えて

院長 MQI推進委員長 柳川達生



式で開催いたしました。この一年でWeb形式の開催には慣れてきたものの細かな点では周到な準備が必要でした。会場の設営担当者とは大会スケジュールを決め、準備物をリストアップしました。

次に当日の会場での各自の役割と作業を細かく決め一覧表にまとめました。CO2モニターで二酸化炭素濃度を測定し会場内を適切に換気するよう大型サーキュレーターも準備しました。リハーサルでは照明とカメラワークに工夫が必要でした。

発表大会当日は三十名の外部機関のサイトと、職員百六十一名の参加でした。柳川の開会の辞、飯田理事長の挨拶に続き、練馬区長と練馬区医師会長の伊藤大介様より御祝辞をいただき披露させていただきました。その後、参加四チームとプロジェクト三チームの計七演題の発表となりました。各部署コロナ感染症で業務量が増え四苦八苦しています。そのなかでの活動で特に苦労が多かったと思います。夏の時点では、

活動が滞り心配なチームもありました。そこで毎週の委員会で進捗管理をしっかり行い、何とか全チーム無事に間に合わせる事ができました。

当日は質疑も活発で、外部参加者からの御質問は我々とは異なった視点があり大変参考になりました。また至らぬ点をしっかりと指摘いただきました。

発表終了後の特別講演は日本政策投資銀行BCM格付け主幹、鶴島 崇様より「BCMの潮流と病院での具体的な取組」に関してお話いただきました。自然災害、感染症、サイバー攻撃等事業継続を脅かされる事態に直面することがあります。事業継続マネジメント（BCM）は、そういった状況に陥っても組織運営を継続できる体制の構築の一助となるというお話をいただきました。

次に審査発表となりました。今年ほどのチームも成果をあげ接戦でしたが、最優秀賞は事業継続計画（BCP）プロジェクトチームの「事業継続計画（BCP）見直しと第三者評価受審の取り組み」、優秀賞は放射線科チームの「造影検査推奨基準を見直し、腎機能低下患者への対応を標準化する」、努力賞は糖尿病センタープロジェクト「外来にお

ける糖尿病治療・療養指導成績の向上を目指す」、理事長賞は医療安全プロジェクトチームの「医療安全管理体制相互評価の取り組み」に贈られました。

最後に栗原副院長の閉会の辞で終了となりました。発表大会終了後の恒例の懇親会は開催できませんでした。推進委員会の打ち上げも二年行えない状況ですが来年は何か開催したいと思っています。今回も円滑な運営ができ、Web開催も定着させることができました。

MQIの意義は業務改善のできる組織力、そして改善できる人材の育成等であり、その結果、活動成果がえられます。よい成果を得ているときは組織力向上、人材育成にも成果があがっているといえます。また良い活動をしていれば多くの方々にお集まりいただき他組織との交流も広がります。

ここ二年あまり地域の方々との交流、講演会等もなくなってしまいました。今後地域の方々との交流も深めていけると確信しました。今回の経験を生かし、来年度につなげ次の段階へ発展させてまいります。

第二十六回医療の質向上（MQI）活動発表大会を、令和三年十二月四日に開催しました。本年度の統一主題は「おさめるー基本を遵守した医療」です。新型コロナウイルス感染症の時代、我々はこれまでとは違った病院運営を行っていかねばなりません。また基本に基づき感染症対策等を強化し地域医療もおさめていかなければなりません。

わが国では新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が低減しています。しかしワクチン接種が進んでいる欧州、韓国でも感染が再拡大しています。新たなオミクロン株も出てまいりました。予断は許されない状況にかわりありません。そうした中、昨年に引き続きWebと地下講堂会場とのハイブリッド方

『医師という職業』

旭丘中学校での講演について

副院長

栗原 直人

練馬総合病院では毎年九月に旭丘中学校二年の生徒さんの職場体験を実施してきました。新型コロナウイルス感染が蔓延する中、二〇二〇年、二〇二一年は感染防止の観点から本取り組みを中止しました。一方、二〇二二年は旭丘中学校校長先生と相談し、中学生の進路を決める参考になるように職場体験の別な形として、『出張講演』を実施しました。一〇月七日(木曜日)午後二時三十分から約一時間、三十六名の生徒さんが、目を輝かせながら大変熱心に講演を聞き、多くの質問をいただきました。その様子を報告します。

講演内容は、練馬総合病院の紹介、病院で働いている人は多くの職種があることを説明しました。近年、テレビやアニメで医療を扱ったドラマが多く認められ、関心が高い職場と思われれます。医療を支えているのは、医師、看護師だけではなく、薬剤師、検査技師、放射線技師、理学療法士、管理栄養士、臨床工学技士、医療ソーシャルワーカー、医事課

や事務、施設、清掃、その他医療の安全や質管理など、幅広い職種が活躍して、患者さんが安心して病気になったときに、診療・療養できる環境を提供していることを説明しました。私は外科医であり、副院長・診療部長という立場から、『医師という職業』について、わかりやすく説明しました。あらかじめ職場体験に「職業を選んだ理由やきっかけ」「やりがい」「仕事をするうえで大切にしていること」「中学生のうちにしておくと良いことなどアドバイス」を盛り込むことを依頼されていました。そこで、医師を目指した契機、医学部に入学するための準備、医学部の勉強、大学生活(部活動や学外活動など)、医師国家試験、研修医生活、外科医としての修煉、留学生活(米国NYへの留学経験)、練馬総合病院での仕事について説明しました。医学的なことは、実際の診療として問診、触診、検査について要点を説明しました。

医師は、正しい診断を行い、治療法を選択し、患者さんやご家族に病状をわかりやすく説明して同意をえて、治療をすすめること、そのためには患者さんやご家族との相互の信頼関係を構築することが重要であることを説明しました。実際に、胃癌や大腸癌などの症例

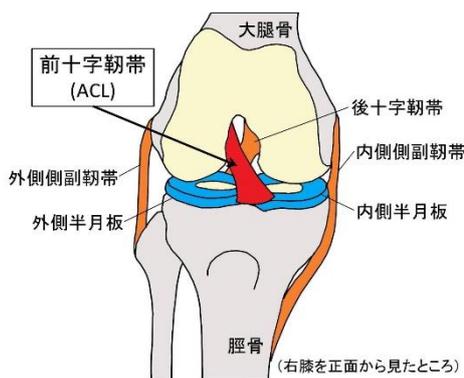
をわかりやすく説明しました。生徒からの質問は①手術時間について、②外科医として最初の手術はどんな手術であったか、③副院長になるにはどうしたのか、などいくつもありません。また、将来医師を目指している生徒さんが志望理由を話してくれました。あつという間の一時間でした。講演から、将来の職業選択のヒント、一生懸命努力することの大切さ、仕事に対する生きがい、多くのことに興味を持つこと、学習・実践することの重要性について、生徒さん一人一人が考える契機になることを祈っています。

普段は比較のおとなしい生徒さんが多くの質問をしてくれたことを、校長先生は大変喜んでいました。二〇二二年は新型コロナウイルス感染が少なくなり、病院での職場体験が実現できることを願っています。

コモンディーズシリーズ 『膝前十字靭帯損傷、半月板損傷』 整形外科 魚水 麻里

膝の靭帯損傷、半月板損傷というところのようなイメージがあるでしょうか。スポーツ選手のケガ？手術しないといけない？痛みがなければ放っておいていい？今回、日常でも耳にする膝のケガについて説明します。

まず、膝関節を支える靭帯には、前・後十字靭帯、内側・外側副靭帯など、複数の靭帯があります。また、全体重がかかる膝関節にはクッションの役割をする軟骨、半月板も存在します(図1)。



(図1) 膝関節内の靭帯や半月板

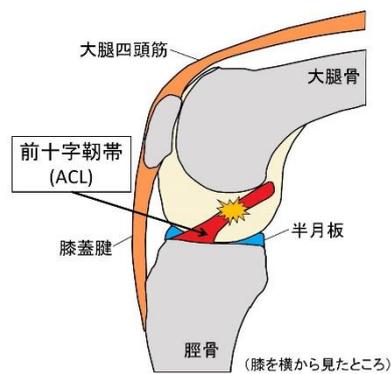
本稿では、診察や治療方針について説明することの多い、膝前十字靭帯損傷、半月板損傷、それぞれについて説明します。

ちなみに、病院で使われる「損傷」と「断裂」の病名に違いはありません。「壊れて正常ではない状態になっていく」と「理解いただければと思います」。

●膝前十字靭帯損傷

前十字靭帯は、大腿骨と脛骨を前後方向に結び、膝関節を安定させるはたらきがあります。バレーボールやバスケットボールなどスポーツのジャンプ動作の着地時や、サッカーやバドミントン等での切り返し動作時、格闘技やラグビーでの接触時に損傷することがあります。また、日常生活においても、転倒や交通事故などで強く膝を捻って受傷する場合もあります(図2)。

前十字靭帯は、その構造や組織学的な特徴から、損傷後に自然に治ることは非常にまれです。また、損傷の際に、半月板やほかの靭帯を同時に損傷することがあります。詳細な診察やMRIなどの検査を行い、診断し、治療方針を決定します。



(図2) 前十字靭帯損傷の図

前十字靭帯を損傷したままスポーツや仕事を続けると、膝が不安定な状態であるため、「カクツ」または「ガクツ」と膝がずれる症状が出る場合があります。これを「膝崩れ」といいます。そして、小さな「膝崩れ」でも繰り返すことで、半月板や軟骨にさらなる損傷を生じ、将来的に変形性膝関節症へ進行することが知られています。

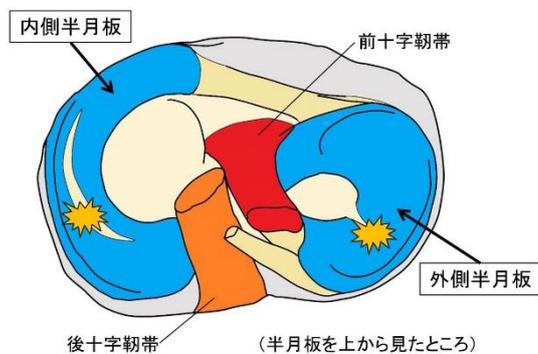
そのため、手術によって前十字靭帯を再建し膝の機能を回復させることは、年齢やスポーツレベルを問わず、標準的な治療法となっています。

当院では、前十字靭帯が担っている複合的な機能を再建するのに有利とされる、ハムストリング(半腱様筋腱)を用いた二重再建術を行っています。ハムストリングから作った移植腱を、骨にあげた孔に通して固定することで、前十字靭帯と同じように機能させる手

術です。また、半月板などの合併損傷に対する手術が必要な場合は同時に行います。手術翌日からリハビリテーションを開始し、入院は一週間前後を目安としています。手術後六ヶ月からスポーツを開始し、七〜八ヶ月でスポーツへの完全復帰を目指しています。

●半月板損傷

続いて、膝関節でクッション材としてはたらく半月板の損傷についてです。半月板は一つの膝に内側半月板、外側半月板の二つがあります。クッションですので、年齢とともに傷んできたり、スポーツや交通事故などで急な力がかかって亀裂が入ってしまったりすることがあります。これを半月板損傷とよびます(図3)。



(図3) 半月板損傷の図

半月板が損傷することで膝に炎症が起きると、水が溜まって膝が腫れたり、痛みがでたりします。また、膝の曲げ伸ばしや方向転換時に痛みやひっかかりを起こすことがあります。重症になると、半月板が挟まって膝が屈伸できなくなる「ロッキング(嵌頓)」の状態になります。緊急で手術が必要になることもあります。診察やMRI検査を行い、診断し、治療方針を決定します。

手術は関節鏡を使って行います。半月板縫合術(切れた部分を糸で縫い合わせて癒合させる方法)、半月板部分切除術(損傷した部分が邪魔にならないよう切り取る方法)を状況に合わせて選択します。入院は四日〜一週間ほどで、半月板縫合術を行った場合は、数週の荷重制限を設けることがあります。

以上、前十字靭帯損傷、半月板損傷についてご説明いたしました。膝関節のケガには他にも多くの種類があります。膝の痛みや不調でお悩みがある方は、どうぞ整形外科へお気軽にご相談いらしてください。

ナースの話

「働いてよかった」



練馬総合病院は経営理念に「職員が働きたい、働いてよかった、患者さんがかかりたい、かかって良かった、地域が在って欲しい、在るので安心、といえる医療をおこなう」を掲げています。

これは当時私が当院に入職を決めた理由の一つでした。私は手術室勤務十年で、二回育児休業を取り現在に至ります。男性職員の取得率が低い昨今、二回の取得を許可する病院は、まだ少ないと聞いています。そんな中、長女と双子の長男次男出生後、育児に関わることで、子供の成長を間近で体験し、幸せな家族の時間を過ごすことができました。病院や職員の皆様には感謝しありません。正に「働きたい、働いてよかった」を体感しました。

育児休業を取得しづらい要因として「職場に取得しにくい雰囲気がある」や「仕事復帰への不安」があげられます。私自身も復帰の時、漠然とした不安を感じました。「すぐに仕事が出来るだろうか」、「職員の皆に認めてもらえるだろうか」、「自分が戻る居場所はあるだろうか」等、不安な気持ちばかりが先行しました。しかし、全ては自分の思い込みでした。院内ですれ違ふ皆が「おかせりなさい」と声をかけ、迎え入れてくれて抱えていた不安を吹き飛ばしてくれました。また、子供が熱を出した時の急な休みも快く理解頂ける環境もあり、一層「頑張りたい」、「恩返ししたい」と思いました。

当院は病床数二百二十四床の地域中核病院です。手術室は外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、脳外科、眼科、皮膚科等、様々な手術を行っています。

また、医師、看護師だけでなく、放射線技師や臨床工学技士、検査技師等の技術が必要とする手術が主流であり、他部署の職員も出入りします。以前勤務していた病院は、千床規模で職員数が多く、職員同士の顔を覚えることが出来ない環境に寂しさを感じていました。練馬総合病院に勤め、今まで関わることが殆どなかった職種の方と知り合

う機会が増えました。多職種と知り合うことで、普段からコミュニケーションをとることが出来ます。そうすることで、職種横断で確認事項や、相談まで円滑に出来るようになります。この様に多職種で話しやすい環境は、医療安全にも役立っています。医療事故の多くは、コミュニケーション不足による報告・伝達のミスが一因といわれているからです。

また、当院では年に一回、全職員が参加する研修があります。多職種が集まり、それぞれの部署が抱える問題について討議し、業務改善へつなげる内容です。この研修では、互いの部署が抱える問題点を討議の場所で共有し、お互いの状況を理解出来、多角的な意見から解決策を立案できます。

当院理念の「職員が働きたい、働いてよかった」を考えると、練馬総合病院で働く職員の皆に、支えられていると感じました。日々のストレスはもちろんありますが、多くの仲間と囲まれ日々楽しく仕事ができます。やはり、研修を含め、多くの職員との関わり合う機会が多く、そこで関係性を構築し、普段からコミュニケーションを取れる場所があるからだと思えます。そして、今後職員の皆が、理念にある

思いを持ってもらえるように、恩返しをしていくことが自分の役割だと思います。また、職員の皆が「働きたい、働いてよかった」と言える場所に、職員皆で作り上げていけるのが理想です。

手術室 大橋 周治



くすりの話

～せん妄～



●せん妄とは

せん妄は病気や薬、入院するなどの環境変化が原因で起こる一過性の症状です。せん妄の症状には次のようなものがあります。(表1)

・時間や場所がわからなくなる。
・睡眠リズムが崩れる。
・話のつじつまが合わなくなる。
・怒りっぽくなる。
・落ち着きがなくなる。

せん妄の状態が続くと転倒や飲み薬の拒否、点滴を自分で抜いてしまうなどの行動がみられることもあります。

そのため、適切な治療を受けることが難しくなることがあります。

●せん妄と認知症の違い

せん妄の症状は認知症の症状と似ているため、急に認知症の症状が進んだのでは?と思う方がいます。せん妄は認知症と違い一時的な症状の変化が特徴のため、適切に治療すれば症状は改善します。

●せん妄3因子

せん妄3因子とは、①「せん妄が起こりやすくなるもの」②「せん妄の原因となるもの」③「せん妄が進むもの」のことを言います。(表2)

せん妄の発症にはせん妄3因子が重なり合って発症します。

せん妄が起こりやすくなるもの	高齢、認知症、脳の病気 せん妄の既往など
せん妄の原因となるもの	病気、手術、アルコール薬(睡眠薬、抗不安薬)など
せん妄が進むもの	身体的苦痛(疼痛、不眠、便秘) 不安、環境変化など

●せん妄予防

せん妄の予防は可能な限りせん妄3因子を取り除くことです。「せん妄が起こりやすくなるもの」は取り除くことが難しいので、「せん妄の原因となるもの」と「せん妄が進むもの」を可能な限り減らすことが大切です。せん妄の原因となる薬を使用している場合、薬の調整を行うことも有効です。中でもベンゾジアゼピン・非ベンゾジアゼピン系睡眠薬は高齢者にとってせん妄の原因になりやすい薬の一つです。ベルソムラ®やロゼレム®は高齢者に対して使用してもせん妄になりにくい睡眠薬と言われています。

●せん妄の治療

せん妄の治療は、「せん妄の原因となるもの」である病気の治療を行うことが大切です。せん妄の症状である、落ち着きのなさや怒りっぽさに対して興奮を抑える薬を使用します。(表3)

以前は、せん妄に対して使用が認められていた薬はチアプリド一つのみでした。現在はクエチアピン、リスペリドン、ハロペリドール(セレネース®)、ペロスピロンの四つについてせん妄治療に使用することが認められ治療の幅が広がりました。

表3 当院でせん妄治療に使用される薬剤と内服薬の注意点

	薬剤名	注意点
内服薬	クリチアピン	糖尿病の症状(多飲、多尿)ができることがある。
	リスペリドン	
	抑肝散	むくみや手足がつることがある。
	チアプリド	ふらつきが現れることがある。
注射薬	セレネース®	
	サイレース®	
	アタラックス-P®	

●最後に

「せん妄の原因となるもの」にはアルコールや薬があります。生活習慣の見直すことが大切です。また現在服用中の薬について見直しを考えている方は自己判断せずに医師や薬剤師に御相談ください。

検査の話

電解質



電解質（イオン）とは、水に溶解すると電気を通す物質のことで、血液や体液などに陽イオンや陰イオンとして含まれています。電解質は、体内の浸透圧の調整や水分の保持、神経伝達や筋肉の働きを助けるなど、重要な役割を担っています。何らかの理由で体内の電解質のバランスが崩れると体調不良や吐気、痙攣など様々な症状が起ります。血液中の電解質は常に一定の値を保っており、その恒常性は主に腎臓によって調整されています。

主な電解質には、ナトリウムやクロール、カリウム、カルシウム、マグネシウムなどがあります。

・ナトリウム（Na）

ナトリウムは、からだの水分を調整する働きがあります。ナトリウムが多いと、これを薄めるために体内に水がたまり、むくみや高血圧の原因になります。飲食物から摂取され、主に汗や尿から体外に排出されます。健康な腎臓は尿の排出量を調整することで、体内のナトリウム濃度を一定に維持しています。

高値の場合は、嘔吐、下痢、利尿薬の使用などによる脱水症のほか、尿崩症、アルドステロン症などが考えられます。低値の場合は腎不全、ネフローゼ症候群、心不全などが考えられます。

・クロール（Cl）

クロールの大部分はナトリウムとともに存在し、体内の水分量の調整やpHの調整をしています。脱水症や過換気症候群で高値になるほか、腎不全などでも高値になります。低値の場合は、嘔吐や下痢のほか、アジソン病（原発性または慢性副腎皮質機能不全）などが疑われます。

・カリウム（K）

カリウムは、細胞内に存在し神経や筋肉の働きを調整しています。カリウム濃度が低いと神経が麻痺し、高すぎると不整脈を誘発するなど心臓に悪影響があります。

からだは、カリウムの摂取量と排出量をつり合わせることでカリウム濃度を適正な値に維持しており、腎臓が排泄量を調整しています。腎臓が正常に機能している場合は、不要なカリウムは体外に排出されますが、腎機能に異常があると排出コントロールがうまくいかなくなり、したがって急性腎不全、慢性腎不全などでは血中カリウムが高くなります。また嘔吐や下痢などでは低値となります。

・カルシウム（Ca）

生体のカルシウムの九十九％は骨に蓄えられています。細胞内や血液にも存在します。カルシウムは筋収縮や神経伝達、ホルモン分泌、血液凝固が適切に機能するために必要な電解質です。血液中のカルシウム濃度が低下すると、必要に応じて骨から血液中に移動してカルシウム濃度を維持します。十分なカルシウムを摂取していないと、

骨のカルシウムが大量に動員されて骨が弱くなり骨粗しょう症になることがあります。

悪性腫瘍の骨転移や多発性骨髄腫などの骨代謝異常、副甲状腺機能亢進症などで高値となり、ビタミンD欠乏症や副甲状腺機能低下症などで低値となります。

・マグネシウム（Mg）

生体内のマグネシウムは約五十〜六十％が骨に、約二十五％が筋肉に存在し血液に含まれる量は微量です。マグネシウムは骨や歯の形成および、神経や筋肉における情報伝達に欠かせない電解質です。体内の様々な酵素の活性化にも必要です。

飲食物により摂取され、腸管より吸収されます。排泄は主に腎臓が担っています。腎機能が低下する腎不全では、尿中の排泄量が低下するため血中濃度が高値を示します。また摂取不足（低栄養）や慢性下痢、アルコールの多飲などで低値になります。

レントゲンの話

～放射線の単位と量～

○Gy (グレイ)

吸収線量の単位で、放射線がある物質を通過する時に物質が吸収したエネルギーの量を表す時に使われます。放射線の種類や人体の臓器などは考慮されていません。

○Sv (シーベルト)

放射線を体に受けたときの影響を表すときに使われます。この数値は放射線の種類や人体の臓器・組織を考慮して算出される値です。つまり、単位がSvであれば医療によるものや自然によるもの、その他全ての被ばくを比べて考えることができます。

放射線について示す数値には、Bq(ベクレル)やGy(グレイ)、Sv(シーベルト)など様々な単位が付きます。しかし、それぞれがどのようなものなのかは知らない人も多いかと思えます。また、検査での放射線の量と日常生活で受ける放射線の量についてお話しします。

○Bq (ベクレル)

ベクレルは放射線の量(強さ)を表す単位で、放射線を出す物質の秒間あたりの壊変数です。つまり、放射性物質がどのくらい強い放射能であるかということを表しています。

表1. 日常で関わる放射線量の例

食べ物から	0.99mSv/年
空気中から	0.48mSv/年
大地から	0.33mSv/年
宇宙から	0.3mSv/年
レントゲン	0.06mSv
東京-NY間を航空機で往復	0.16mSv

「日常生活と放射線の量」

放射線や被ばくと聞くとレントゲンやCT検査などを思い浮かべるかと思いますが。しかし私たちは日常の生活においても自然界からある程度の放射線を受けています。その量は日本に住んでいると一年あたり約二・一ミリシーベルトです。これは野菜や動物の肉や魚などの食品からのものや宇宙から降りそそぐ宇宙線、また大気や大地からの放射線などがあります。つまり普通に生活をしているだけで誰もが年間約二・一ミリシーベルトという放射線を受けているということです。この他にも地上より宇宙に近い上空の方が線量が高いため、東京からニューヨーク間の飛行機での移動(往復)でも約〇・一六ミリシーベルトがあります。(表1)しかし、この量が多いのか少ないのかを知らないかたもいると思います。放射線は浴びすぎると健康に良くないのは事実ですが、その量は約一〇〇ミリシーベルトと言われておりそれ以下であれば影響は出ないと言われていています。

医療において受ける放射線は胸部レントゲンで約〇・〇六ミリシーベルト、マンモグラフィーで約〇・二ミリシーベルト、胃部レントゲンで約三ミリシ

ーベルトであり、体に影響がない程度です。また、放射線は体内に溜まっていくなわけではなく時間が経つにつれ減衰していく性質のため、一度被ばくをしてしまうと体内に残ってしまうことはありません。

○最後に

放射線を表す単位はそれぞれにこのような意味があるということと、放射線は日常生活でもとても身近であり、全てを怖がるのではなく、人体に影響がでる量以下であれば、X線検査によるがんの早期発見や飛行機に乗り生活が便利になるなどの便益を得られるということと同時に考えることが大切です。



食事の話

豆類 その2



前号では豆類とは何なのか、そしてその歴史について話しました。今回は種類や栄養などについて話します。

・種類

世界には一万八千種ほどのマメ科植物があり、そのうち食用の豆はおよそ七十〜八十種類ほどといわれています。そして日本で流通している主な豆は二十種類ほどです。

○日本で栽培されている豆

ササゲ属の小豆やささげは、あんこや赤飯で馴染みがあります。大納言は小豆の中でも粒が大きく、皮が破れにくい特性を持つ品種です。

エンドウマメ属の赤えんどうはみつ豆や落雁に使われており、青えんどう

はうぐいすあんに使われます。

インゲンマメ属は紅花いんげんと、いんげん豆に分かれます。紅花いんげんは、肉料理と相性の良い白花豆、ケーキや甘煮に合う紫花豆があります。いんげん豆にはその他に、甘納豆の豆として知られるうずら豆や白あんの原料となる手亡豆、チリコンカンに使用される金時豆もあります。

ダイズ属には、私たちが良く知る大豆(黄大豆ともいう)以外に、正月の定番料理・甘煮で知られる黒豆、濃厚な甘みとうまみを持つ青大豆があります。

その他にソラマメ属のそら豆、ラツカセイ属の落花生も日本で栽培されている品種です。

○海外から輸入される豆

ササゲ属の一つで、もやしの原料となる緑豆。中東やインド、ヨーロッパなどでよく食べられ、スープなどに使用されるレンズ豆。ほくほくとした食感でガルバンゾとも呼ばれるひよこ豆。これらは、日本では栽培されておらず輸入されていますが、身近になってきた海外の豆料理として、私たちの食卓を彩っています。

・栄養

豆類は栄養豊富、と前号で紹介しました。炭水化物や蛋白質、ビタミン・ミネラルがバランスよく含まれており、食物繊維も豊富に含まれています。

栄養成分の構成によって、炭水化物系と脂質系の二種類に分類できます。

炭水化物系の豆は小豆や、いんげん豆、ひよこ豆などで、重量の約半分以上が炭水化物で構成されています。低脂肪で高蛋白質な食品でもあります。

脂質系の豆は大豆、落花生を代表としています。重量の約二割が脂質であり、世界的には搾油原料として利用されています。大豆は蛋白質が重量の三割前後と多いため、「畑の肉」とも呼ばれます。

・豆の選び方

粒が大きく、大きさが揃っていて重量感があり、張りやつやのある豆はふつくと均一に煮えます。また、その年の秋に収穫されて三、四か月の豆を新豆と呼び、それに対して収穫から一年以上経過した豆を古品(こひん)と呼んで区別します。新豆は皮が軟らかいので早く煮えますが、煮崩れしやすく扱いが難しいです。一方古品は皮がしっかりしているため、煮る時間はかかりますが、豆本来の風味と旨味を味わえ

ます。豆の種類に注目し、色々な豆料理を食べてみるのはいかがでしょうか。

☆レンズ豆のトマトスープ (2人分)

【材料】

- ・レンズ豆・トマト缶(ダイス) 各 50g
- ・玉ねぎ 60g
- ・にんにく 1/2片
- ・オリーブ油 小さじ1/2
- ・顆粒コンソメ 小さじ1/2
- ・塩・胡椒 適量
- ・生クリーム 適量

【作り方】

1. 玉ねぎは1cm角に、にんにくはみじん切りにしておきます。
2. 鍋にオリーブ油・にんにくを入れて炒め、香りが油に移ったら、玉葱を入れて透明になるまで炒めます。
3. レンズ豆、トマト缶、顆粒コンソメを入れ、豆が軟らかくなるまで煮ます。
4. 塩胡椒で味を調え、器に盛って生クリームを掛けたら完成。

リハビリの話

～健康維持・増進のために～

的に評価しなければいけません。要因として大きく【内的要因】と【外的要因】があります。

内的要因には、フィジカル、メデイカル、スキルメンタルが含まれ、外的要因には環境、用具が含まれています。コンディショニングを実施する際には、これらの要因がどのように影響するか分析し、改善策を立案し環境整備を行う必要があります。

●デイトレーニング

運動が一定期間中断されることをデイトレーニングと言います。けがや病気になる、運動ができない期間があると、各種の身体機能がどの程度の期間でどのくらい低下するのか知識として把握すると、運動する必要性が分かります。

筋力は、文献によってそれぞれですが一週間の絶対安静で一〇～一五%、三～五週間で五〇%まで低下されると言われています。

持久能力は二週間で九%、五週間で二〇%とされています。

低下した身体機能を取り戻すためには、運動休止期間よりも長い時間が必要となる場合があります。そのため、最小限に低下を抑えることが求められます。

す。また、運動休止し、運動を再開するとき、オーバートレーニングによって怪我が引き起こされる危険があるため、運動と休息のバランスをとりながら徐々に負荷をあげることが大事です。

●トレーニングの原理

トレーニングプログラムを立案・実行するうえで、原理や原則を知る必要があります。原理・原則を考慮せずトレーニングを行うと、期待した効果が得られず、怪我やオーバートレーニングを引き起こすリスクが増えます。

今回は、原理について紹介します。

- ①過負荷の原理・・・日常受けている刺激より高い負荷の刺激を課すことで適応が起こる
- ②特異性の原理・・・身体は課せられた刺激に応じて適応する(SAID)の原理と同義)
- ③可逆性の原理・・・トレーニングによって生じた適応は、中止すると元の状態に戻る

●PDCAサイクル

PDCA サイクルとは、四つの段階を繰り返す手法です。この手法は、コンディショニングに限らず、多くの場面に

応用可能で短期・中期・長期で繰り返すことが重要です。

Plan (計画)・・・現在ある情報をもとに目標を立て、その目標に達成するためのプログラム立案をします。今回の場合、自分の身体機能を把握し、どんな目標を立てて、その目標を達成するための運動内容を立案が求められます。

Do (実行)・・・作成したプログラムを実行します。

Check (評価)・・・計画通りに運動が行っているか確認します。

Action (改善)・・・計画通りに進んでいない部分を調べ、改善策を立案します。

●さいごに

コンディショニングするうえで、様々な要因を評価し、運動しなければなりません。ただ運動するだけでは、よい効果を得られません。また、その運動によって悪影響を及ぼす危険があります。こうした知識を知っているだけで、けがの予防につながり、さらには、効率的な運動を行うことで、小時間の運動でも効果が発揮されます。

本稿の内容が健康維持・増進の一助となれば幸いです。

●はじめに

健康維持・増進のためにコンディショニングを整える基礎知識について紹介します。

●コンディショニングとは

定義「パフォーマンスの発揮に必要な全ての要因を、ある目的に向けて望ましい状態に整えること」とあります。

よくアスリートが使用する言葉ですが、怪我を予防する意味では一般の方にも通じます。

●コンディショニングに影響する要因

「ある目的」は他種多様で、「すべての要因」も数多く存在しているため、多角

患者さんの声に お答えします

(患者満足向上委員会)

今回は「退院時アンケート」に寄せられた、たくさんの方の感謝の言葉の中から抜粋して、掲載させていただきます。

●退院時アンケート（九月）より
リハビリをととてもわかりやすく指導をしてくださり、とても楽しくリハビリをさせてもらいました。



●退院時アンケート（十月）より
とても気持ち良く過ごさせて頂きました。みなさんテキパキされているだけでなく、心がこもっていたので、とてもいい病院だと思いました。何をするにも、必ず声をかけてくれるなど、本当に安心出来ました。ありがとうございます。

●退院時アンケート（十月）より
病状・治療等の説明もわかりやすく、かつ当方の事情にも十分配慮頂き、感謝しています。また症状への不安にも迅速に対応頂き、提供される医療のレベルの高さを感じました。

●退院時アンケート（十月）より
お薬の説明が分かりやすかったですし、看護師さんからのその後の説明も同じだったので、薬剤師さんと看護師さんの間でも院内で連携が取れているんだなと思います。ありがとうございました。

これらの声に恥じないように、感染対策を徹底しながら、さらに医療の質を向上していきます。
今後もより良い対応が出来るよう、職員一同取り組んで参ります。

患者満足向上委員会では、三カ月に一度接遇ワンポイント講座を掲示し、職員の接遇向上に努めています。

接遇ワンポイント講座

* 言葉遣い *

あなたの言葉遣い、不快にさせていませんか？

- 1・相手の目を見て話していますか
- 2・早口できつい口調で話さないようにしていますか
- 3・説明を事務的な口調で無く話していますか
- 4・言葉や表情を優しくしていますか
- 5・見られていると自覚して言動に注意していますか





次号は
第123号 令和4年4月1日発行です。



患者満足向上委員会・広報委員会では、
当院に対する皆様からのご意見・ご質問など
(その他何でも結構です)お待ちしております。
院内に設置してあるご意見箱、または
E-mailでお待ちしております。

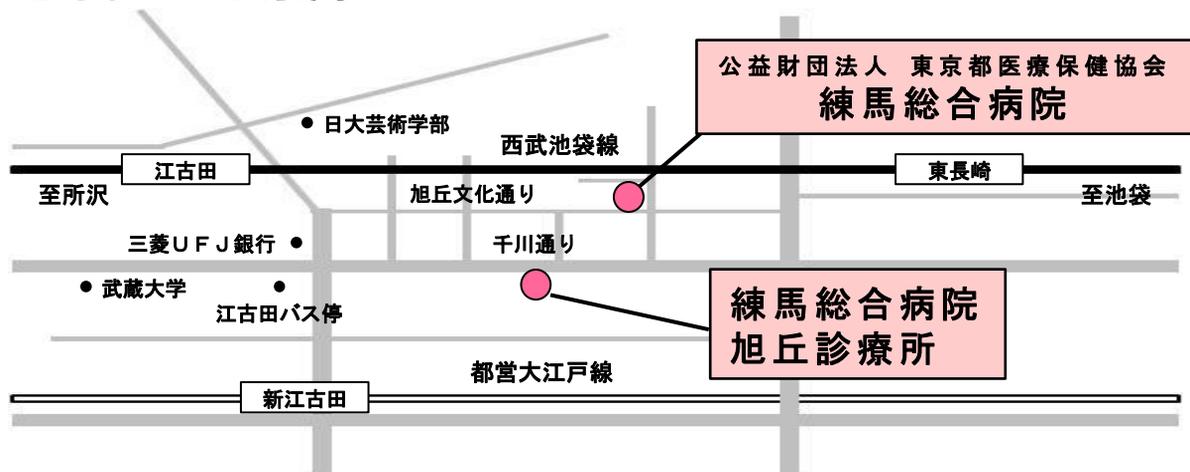
ご意見箱設置場所 各階談話室
玄関入口総合案内



連絡先 Tel 03-5988-2200(代表)
Fax 03-5988-2250
e-mail : info@nerima-hosp.or.jp
<https://www.nerima-hosp.or.jp>



当院へのご案内



●練馬総合病院

●練馬総合病院旭丘診療所

〒176-8530 東京都練馬区旭丘1-24-1

〒176-0005 東京都練馬区旭丘1-32-9

第2MEマンション1階

・診療 問い合わせ 03-5988-2290
 ・各種ドック、健診 03-5988-2246
 ・その他問い合わせ 03-5988-2200 (代表)
 FAX 03-5988-2250

TEL 03-5982-8022
 FAX 03-5982-8045

交通: 電車	■西武池袋線	■地下鉄有楽町線	■都営大江戸線	徒歩
	江古田駅南口	小竹向原④出口	新江古田出口	徒歩7分
	東長崎駅南口			徒歩10分
				徒歩15分
				徒歩10分

●練馬総合病院 ★診療科目★

内科／外科／循環器内科／整形外科／皮膚科／泌尿器科
 産婦人科／眼科／脳外科／リハビリテーション科
 特殊外来(禁煙外来・睡眠時無呼吸症候群外来)
 健康医学センター(各種ドック・健診)／結石センター
 糖尿病センター／内視鏡センター／漢方医学センター

●旭丘診療所 ★診療科目★

小児科/漢方内科

★受付時間★

午前の診療受付 午前8時～午前11時
 午後の診療受付 正午～午後4時

★休診日★

土曜日／日曜日／祝祭日／年末年始
 急患は年中無休で24時間診療いたします

★24時間救急受付★

当直医常時3名体制 (内科／外科系／産婦人科)

★面会時間★

平日 午後3時～午後8時
 土・日・祝日 午前10時～午後8時
 * 平日午後7時・休日午後5時30分以降は夜間救急入口になります。

☆新生児面会時間☆

平日 午後3時～3時30分 午後5時～午後7時
 土・日・祝日 午前11時～12時
 午後3時～3時30分 午後5時～午後7時

令和4年1月7日現在 面会は制限を設けております。